



ファンドが着目する
3つの分野



変化に
適応する企業



変化を
促進する企業



変化の
恩恵を受ける企業

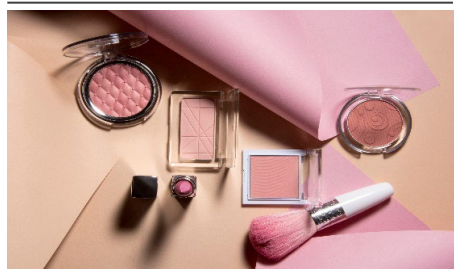
個別銘柄の紹介

(2024年3月29日 現在)



変化に適応する企業

ロレアル



画像はイメージです

ロレアルは世界最大の化粧品メーカーです。100年以上の歴史を持ち、化粧品・ヘアカラー・ヘアケア・スキンケア・日焼け止め・香水の分野を中心に発展してきました。

同社は2030年までに、パッケージに使用されているプラスチックを100%リサイクル由来もしくはバイオ由来のものに代替することに加えて、同年までに製品に使用される包装材の使用量を2019年比で20%削減する目標を掲げています。同社はサステナビリティ（持続可能性）、サーキュラーエコノミーへの取り組みが先行しており、消費者需要の変化に適応している企業として成長が期待できます。

※サーキュラーエコノミーのコンセプトは、廃棄物の最少化およびリサイクルや再利用を活性化させるために製品やシステムの再設計を促進すること、とされています。

上記の内容は当資料作成日時時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

(出所)ブラックロックからの情報提供等に基づき野村アセットマネジメントが作成しています。

(注)当資料はファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



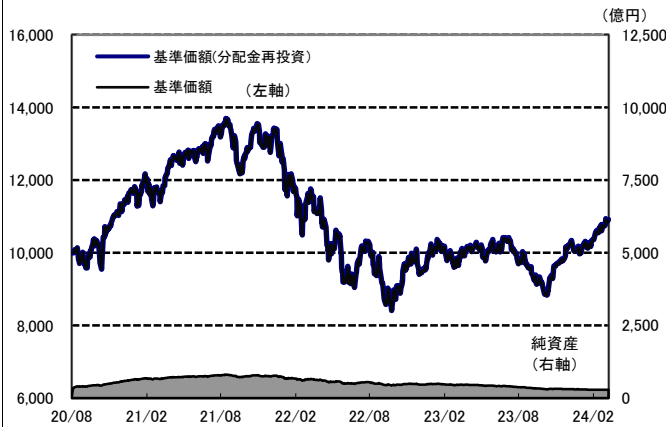
Aコース(米ドル売り円買い)

運用実績

2024年3月29日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 10,888 円

※分配金控除後

純資産総額 284.1億円

- 信託設定日 2020年8月24日
- 信託期間 2030年8月6日まで
- 決算日 原則、2月、8月の各6日 (同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	3.4%
3ヵ月	5.5%
6ヵ月	18.0%
1年	9.1%
3年	-6.3%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 9.1%

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2024年2月	0 円
2023年8月	0 円
2023年2月	0 円
2022年8月	0 円
2022年2月	10 円

設定来累計 30 円

設定来=2020年8月24日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

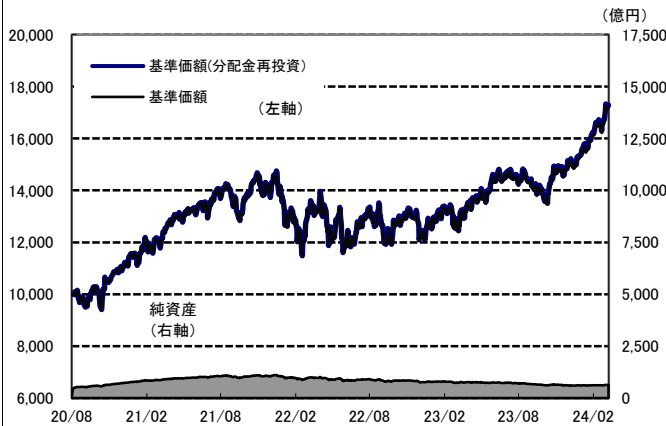
Bコース(為替ヘッジなし)

運用実績

2024年3月29日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 17,195 円

※分配金控除後

純資産総額 629.1億円

- 信託設定日 2020年8月24日
- 信託期間 2030年8月6日まで
- 決算日 原則、2月、8月の各6日 (同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	4.1%
3ヵ月	14.8%
6ヵ月	22.9%
1年	31.6%
3年	42.1%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 72.8%

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2024年2月	10 円
2023年8月	10 円
2023年2月	10 円
2022年8月	10 円
2022年2月	10 円

設定来累計 70 円

設定来=2020年8月24日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ブラックロック・グローバル・ファンズ・サーキュラー・エコノミー・ファンドの資産内容と組入上位10銘柄

資産内容

2024年3月29日 現在

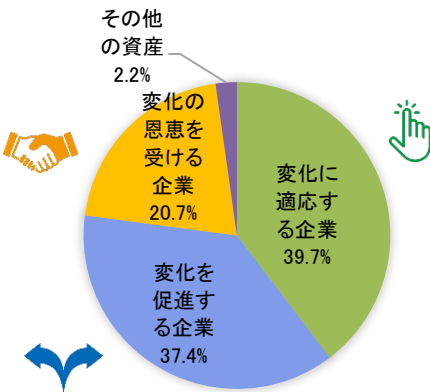
国・地域別配分		セクター別配分		通貨別配分		規模別配分	
国・地域	純資産比	セクター	純資産比	通貨	実質通貨比率	規模	純資産比
米国	48.6%	資本財・サービス	30.9%	米ドル	58.2%	大型	86.3%
フランス	15.3%	素材	28.7%	ユーロ	29.1%	中型	11.0%
アイルランド	6.4%	情報技術	15.9%	円	3.3%	小型	0.4%
英国	4.3%	一般消費財・サービス	9.8%	スイス・フラン	3.1%	その他の資産	2.2%
オランダ	4.0%	生活必需品	5.6%	ノルウェー・クローネ	1.8%	合計	100.0%
その他の国・地域	19.2%	その他のセクター	6.8%	その他の通貨	4.5%		
その他の資産	2.2%	その他の資産	2.2%				
合計(※)	100.0%	合計	100.0%				

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示しておりません。

・セクター分類はGICSによります。

・規模別分類はブラックロックによります。
大型株: 100億米ドル以上
中型株: 20億米ドル以上100億米ドル未満
小型株: 20億米ドル未満
(時価総額ベース)

分野別配分



・分野別区分はブラックロックによります。

※各分野の概要は以下の通りです。

	変化に適応する企業 持続可能な事業を行なう事を公言する企業、再生プラスチックの使用を公言する企業。
	変化を促進する企業 原材料の効率的な使用や環境汚染防止に対して、革新的なソリューションを提供している企業。
	変化の恩恵を受ける企業 サーキュラーエコノミーを核としたビジネスが既に確立されている企業。

組入上位10銘柄

2024年3月29日 現在

銘柄	国・地域	セクター	純資産比
Republic Services, Inc.	米国	資本財・サービス	5.4%
Microsoft Corporation	米国	情報技術	5.1%
CRH Public Limited Company	アイルランド	素材	4.4%
ASML Holding N.V.	オランダ	情報技術	4.0%
Xylem Inc.	米国	資本財・サービス	3.8%
Avery Dennison Corporation	米国	素材	3.7%
Graphic Packaging Holding Company	米国	素材	3.2%
Thermo Fisher Scientific Inc.	米国	ヘルスケア	3.2%
SIG Group AG	スイス	素材	3.1%
L'Oreal	フランス	生活必需品	3.0%
合計			39.0%

組入銘柄数 39 銘柄

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。

・セクター分類はGICSによります。

* 当資料は、ブラックロックの情報提供等を基に野村アセットマネジメントが作成しております。

ファンドは、価値のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



先月の投資環境

○米国株式市場は上旬から中旬にかけて、AI(人工知能)向け半導体の対中国輸出について米国政府が規制を強化するとの観測などから下落する局面があったものの、FRB(米連邦準備制度理事会)のパウエル議長が利下げ開始に前向きな見解を示したことなどが好感され、上昇しました。下旬は、FOMC(米連邦公開市場委員会)において経済が好調さを維持するとの見方が示された一方、2024年の政策金利について3回の利下げ見通しが維持されたことなどが好感され、上昇しました。なお、月間では上昇となりました。

○欧州株式市場は上旬から中旬にかけて、ECB(欧州中央銀行)がインフレ率が一段と鈍化したとの認識を示し、政策金利を据え置いたことなどから、上昇しました。下旬は、スイス国立銀行(中央銀行)が政策金利を引き下げたことや、3月のユーロ圏総合PMI(購買担当者景気指数)速報値が市場予想を上回ったことなどが好感され、上昇しました。なお、月間では上昇となりました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○月間の基準価額(分配金再投資)は、Aコース・Bコースともに上昇しました。

○組入上位銘柄では、SIG Group AGやグラフィック・パッケージング・ホールディングなどの株価上昇がプラスに寄与しました。

○当ファンドは、サーキュラーエコノミーの恩恵を受ける、またはサーキュラーエコノミーの発展に貢献すると考えられる株式に投資を行ないました。

今後の運用方針(2024年3月29日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○未だ不透明感のある市場の中でも、サーキュラーエコノミーの実現に向けた働きかけを行なう企業は、株価の下落時にも反発が早くなる傾向があります。サーキュラーエコノミーの実現に向けて規制が強化されるようになること、消費者がよりサステナブルな商品(利用を通じて環境への負荷を減らせる商品)を愛好するようになること、各企業がよりサーキュラーエコノミーを念頭に置いて企業行動を行なうようになること、の3点を予測していることから、今後の見通しは引き続き良好であると考えます。

○資源・エネルギー・食料需要の増大、廃棄物量の増加、気候変動をはじめとする環境問題の深刻化が世界的な課題となっています。世界中の投資家にとって、気候変動への取り組みが投資においても優先事項となる中で、サステナビリティに注力している企業とそうでない企業との間で大規模な資本の再分配が長期的に行なわれると考えます。

○当ファンドでは従来型の経済モデル「とって作って捨てる」という一方通行型から新たな経済モデル「サーキュラーエコノミー」へ移り変わることで生じる「政府による規制強化などの政策」、「企業によるサーキュラーエコノミーへの対応」、「個人における社会的課題への意識の高まり」といった潮流に焦点を当て、投資リターンの源泉とします。

○当ファンドはサーキュラーエコノミーを推進するエレン・マッカーサー財団との専属パートナー契約に基づき、同財団のサーキュラーエコノミーに関する知見を活用した上で、ESG(環境、社会、企業統治)評価を含めたファンダメンタルズ(基礎的諸条件)分析を行ない、組入銘柄を決定します。また、リスク特性や銘柄分散等を勘案してポートフォリオを構築します。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)/ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



組入上位10銘柄の解説

2024年3月29日現在

銘柄	分野	組入銘柄解説/ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由
1 Republic Services Inc リパブリック・サービシズ	変化の恩恵を受ける企業	一般廃棄物処理会社。 各国でサーキュラーエコノミーの実現に向けた動きが加速しているが、依然として大量の廃棄物がリサイクルされずに処分されている。この問題を解決するため、同社は他社との合弁事業として、埋立地の廃棄物を回収し再生可能な天然ガスに変換する計画を発表した。実現すれば、環境負荷低減や気候変動対策に加えて、埋立地におけるメタンガスの排出、水源の流出などの公共問題の解決も期待される。
2 Microsoft Corp マイクロソフト	変化に適応する企業	ソフトウェアメーカー。 リモート環境の普及や、データ分析の需要増大からサーバーのクラウド化が急速に進んでいることに伴い、データセンター内で排出する二酸化炭素量が、クラウドコンピューティング企業の課題となっている。同社は2030年までに二酸化炭素排出量を実質マイナスにする「カーボン・ネガティブ」を目指しており、データセンターで使用する電力を再生可能エネルギーで賄うなどの取り組みを積極的に進める。
3 CRH Public Limited Company CRH	変化に適応する企業	建築資材メーカー。 北米最大の建築資材のリサイクル業者であり、建築期間の短縮や効率性を高めるため、サステナブルな取り組みを進めている。再生可能エネルギーの使用や、一度廃棄された素材を再利用することで製品のライフサイクル全体を考慮し、コスト削減につなげている。サーキュラーエコノミーに関する規制や企業の取り組みが進んでいくにつれて、企業価値の向上が期待できる。
4 ASML Holding NV ASMLホールディング	変化に適応する企業	半導体製造装置メーカー。 商品のライフサイクル全体において「再利用」を念頭に置いており、製品の設計の見直しに取り組んでいる点を評価。加えて、機械のエネルギー消費量を削減し、改修サービスを導入するなど、将来的な温室効果ガス排出量ゼロを目標に掲げている。半導体の更なる需要拡大に伴い、同社のような環境負担の軽減に関して積極的に取り組む企業は投資家からの支持を得やすく、更なる成長に繋がると考えられる。
5 Xylem Inc ザイルム	変化を促進する企業	上下水道関連会社。 水の効率化を支援することによって循環型社会の実現に貢献している。同社が提供する水の計測機器や水効率を高める先進技術ソリューションを使用することで、利用者は節水に貢献することができる。「水」も循環が必要な資源の一つとして適切な管理が行なわれることによって、環境に対してプラスの影響を与えるるとみている。循環型社会への移行が実現されるにつれて、同社の一層の企業価値向上が期待される。
6 Avery Dennison Corporation エイブリー・デニソン	変化を促進する企業	粘着材料メーカー。 事業のサーキュラーエコノミー化を進めるために具体的な行動計画を示しており、かつ変化を促進する技術も持ち合わせている。例えば、同社が持つRFID技術(非接触で情報を読み書きする自動認識技術)ではサプライチェーン(供給網)の可視化や効率化に貢献するだけでなく、過剰生産を回避し廃棄物の削減に貢献している。独自技術でサーキュラーエコノミーへの移行に貢献する同社は、環境問題への意識が高まる中で今後も成長が期待できる。
7 Graphic Packaging Holding Co グラフィック・パッケージング・ホールディング	変化の恩恵を受ける企業	総合板紙メーカー。 世界の食品、飲料、消費財に使われるパッケージの約半分はプラスチック由来であるが、化石燃料から生産されるプラスチックは二酸化炭素排出量が多く、リサイクル率も低い。この問題を解決するため、同社では持続可能な紙ベースの製品を提供している。同社の生産するほぼ全てのパッケージがリサイクル可能であることに加え、製造過程で発生する廃棄物も最小限にとどめており、同分野でのリーダーの地位を確立している。
8 Thermo Fisher Scientific Inc サーモフィッシャーサイエンティフィック	変化に適応する企業	科学関連製品メーカー。 ライフサイエンス機器は、健康な社会の実現、疾病に対処するための新薬やワクチンの開発などに貢献しており、医療の進歩には欠かせない。同社は、製品を長く使用できるようにするために修理やメンテナンスを強化している。また、製品にリサイクル素材を多く使用し、引き取り制度を導入するなど環境問題への取り組みも積極的に行なっている点を評価している。
9 SIG Group AG SIG Group AG	変化を促進する企業	飲料や食品向けに、無菌パッケージングのソリューションを提供する企業。 同社が開発した液体紙容器は森林認証紙をベースとしており、環境負荷の少ない製品である。また紙以外の樹脂についても植物由来の原料を使用し、環境負荷低減に貢献する。その他にも、製造する紙ストローは口径6mmで、紙ストローでは実現が難しかった強度を備えている。同社製品は、環境負荷低減に貢献しつつ、「使いやすさ」を重視した製品であるため今後の企業価値向上が期待できる。
10 L'Oreal ロレアル	変化に適応する企業	化粧品メーカー。 2025年までに再生可能エネルギーの活用を100%とし、カーボンニュートラルの達成を目指すことを発表した。加えて、2030年までに製品パッケージに使用されるプラスチックを100%再生可能なものに切り替えることを目標に掲げた。同社はサステナビリティ、サーキュラーエコノミーへの取り組みが先行しており、昨今の消費者の需要の変化に適応している企業として、今後も一層の成長が期待できる。

(出所)「組入銘柄解説/ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由」は、ブラックロックからの情報提供等に基づき野村アセットマネジメントが作成しています。

(注)当資料はファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

※各分野の概要については、ブラックロック・グローバル・ファンズ・サーキュラー・エコノミー・ファンドの資産内容をご参照ください。

・分野別区分はブラックロックによります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ファンドは、ESG^{*}を投資対象選定の主要な要素としており、「ファンドの特色」にその詳細を記載しています。
 ※ ESGとはEnvironment(環境)、Social(社会)及びCorporate Governance(企業統治)の総称です。

ファンドの特色

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 新興国を含む世界各国の金融商品取引所に上場している企業の株式を実質的な主要投資対象^{*}とします。
 ※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資法人や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- ファンドは投資する外国投資法人において、米ドル売り円買いの為替取引を行なう「Aコース」と対円での為替ヘッジを目的とした為替取引を行なわない「Bコース」から構成されています。
- 各々以下の外国投資法人である「ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

ファンド名	投資対象とする外国投資法人の円建ての外国投資証券
Aコース (米ドル売り円買い [*])	ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I2ヘッジ(円建て)
Bコース (為替ヘッジなし)	ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I2(円建て)

※Aコースにおける「米ドル売り円買い」とは、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行なうことをいいます。

- 通常の状態においては、「ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンド」への投資を中心とします^{*}が、投資比率には特に制限は設けず、各証券の収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

※通常の状態においては、「ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

■ファンドの組入銘柄■

ファンドが投資対象とする「ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンド」は、ESG特性を重視して選定された銘柄に純資産総額の80%以上投資を行ないます。

※投資対象銘柄のESG特性を考慮してポートフォリオ構築を行なう際の制約要因やリスクについては、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご参照ください。

■外国投資法人「ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンド」の主な投資方針について■

- ・新興国を含む世界各国の金融商品取引所に上場している企業の株式を主要投資対象とし、トータル・リターンを最大化を目指して運用を行なうことを基本とします。
- ・クラスI2ヘッジ(円建て)は、実質的な通貨配分にかかわらず、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度、米ドル売り円買いの為替取引を行なうことを基本とします。
- ・クラスI2(円建て)は、原則として対円での為替ヘッジを目的とした為替取引を行ないません。

* 上記は2023年10月27日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。



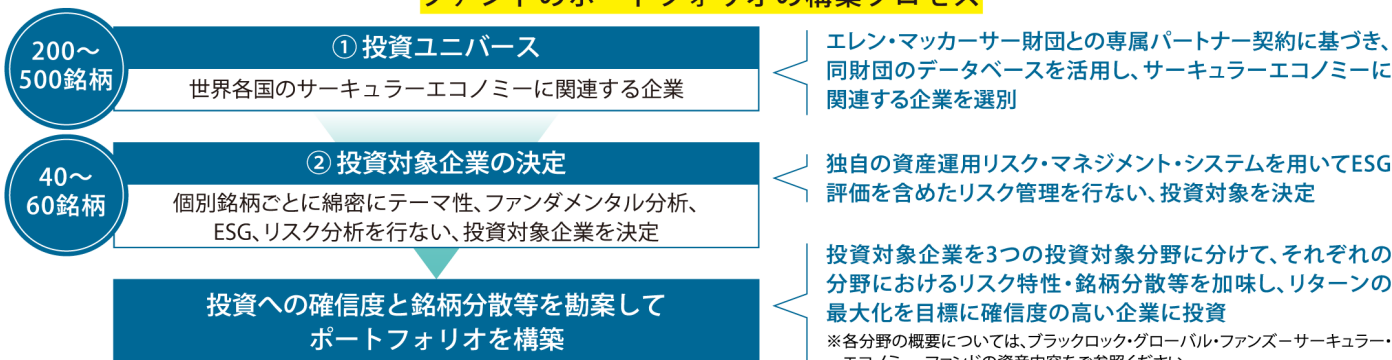
ファンドの特色

- ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
 - 投資対象とする外国投資法人におけるサステナブル投資 ■
投資対象とする外国投資法人では、サーキュラーエコノミー(循環経済)の恩恵を受ける、またはサーキュラーエコノミーの発展に貢献すると考えられる株式に投資を行いません。また、同銘柄に純資産総額の80%以上投資することを基本とします。
 - ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッドのステュワードシップ方針 ■
・ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッドは、議決権行使やエンゲージメント(対話)を通じて、投資先企業の持続可能な成長を促します。
・ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッドのステュワードシップ方針の詳細は、以下のサイト(「野村アセットマネジメントの主なESGファンド」)内、「外部委託ファンドのステュワードシップ方針」にある「野村ブラックロック循環経済関連株投信」の「ステュワードシップの方針はこちら」より、ブラックロック・ジャパン株式会社のサイトにアクセスいただくと、ご覧いただけます。
<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/strategy/esglineup.html#esglineup4>
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- 原則、毎年2月および8月の6日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。
* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

プロセスチャート

ファンドのポートフォリオの構築プロセス



出所:ブラックロック作成

上記の投資プロセスは、今後変更となる場合があります。資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



投資リスク

各ファンドは、外国投資証券等への投資を通じて、株式等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落や、当該株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、ESG投資に関するリスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2030年8月6日まで(2020年8月24日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の決算時(原則、2月および8月の6日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万以上10単位(当初金1口=1円)または1万円以上1円単位
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行
・ニューヨーク証券取引所 ・ロンドン証券取引所
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税込3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.10%(税込年1.00%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率(注) 年1.83%程度(税込) (注)ファンドが投資対象とする外国投資証券の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入価額に証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依りて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期末決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。

<p>ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。</p> <p>野村アセットマネジメント株式会社 ★サポートダイヤル★ 0120-753104(フリーダイヤル) <受付時間> 営業日の午前9時~午後5時 ★インターネットホームページ★ http://www.nomura-am.co.jp/</p>	<p><委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図を行なう者]</p> <p><受託会社> 野村信託銀行株式会社 [ファンドの財産の保管および管理を行なう者]</p>
---	--

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

野村ブラックロック循環経済関連株投信(愛称:ザ・サーキュラー) Aコース/Bコース

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。